資料１－３

第9回地域資源戦略協議会
（ものづくり分野）参考意見

2015.2.19

株式会社エリオニクス

取締役会長　本目 精吾

1.主力製品

ELIONIX

電子・イオン等を利用した、ナノスケールでの加工・観察・測定機器を開発・製造・販売

電子ビーム描画装置

電子線3次元粗さ解析装置

超微小押し込み硬さ試験機

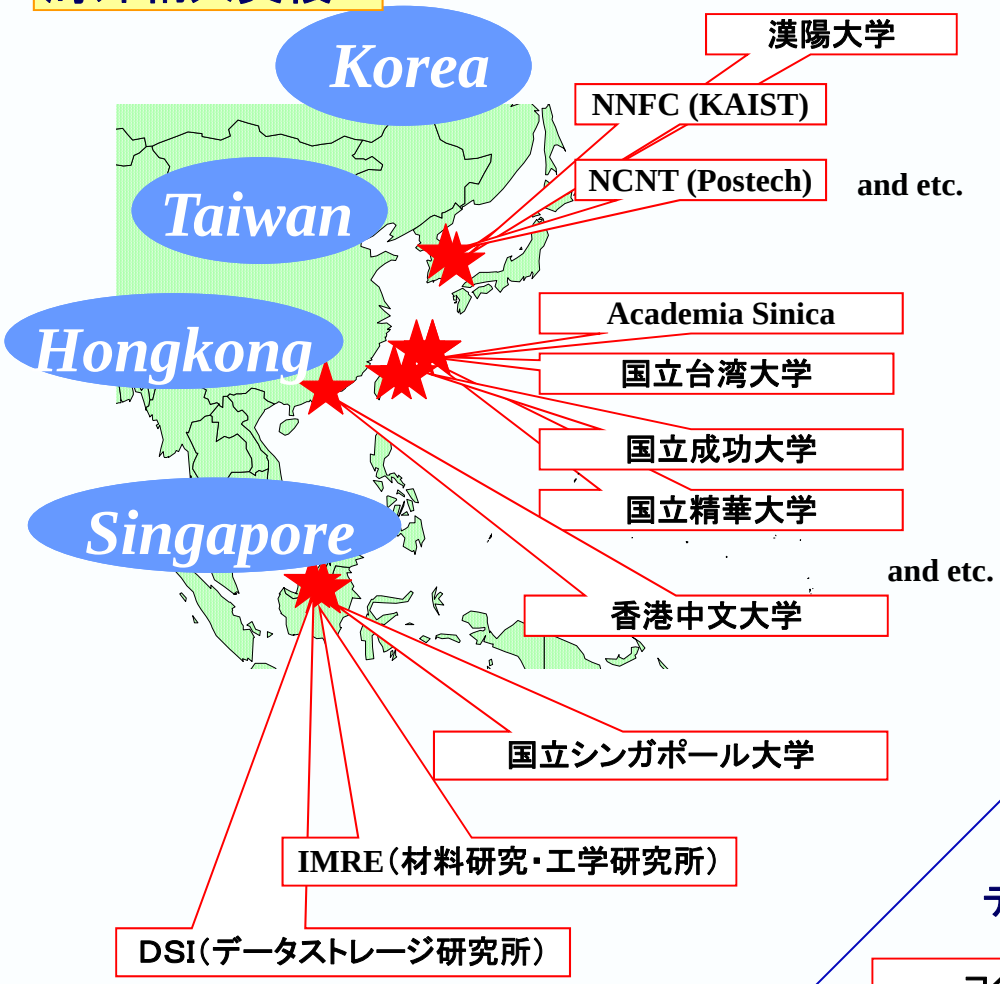
イオンエッチング装置
イオン成膜装置

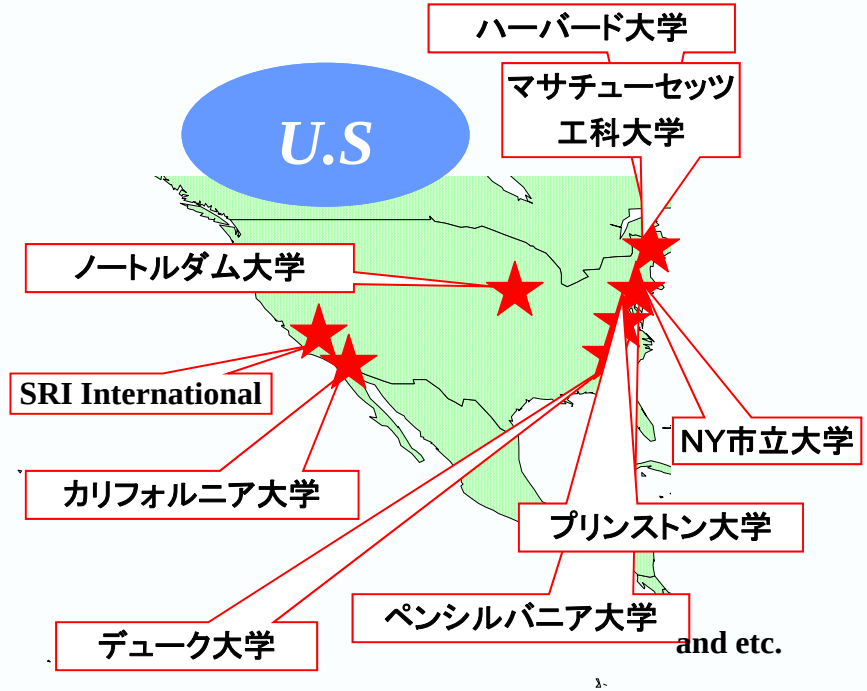
2.主な納入先

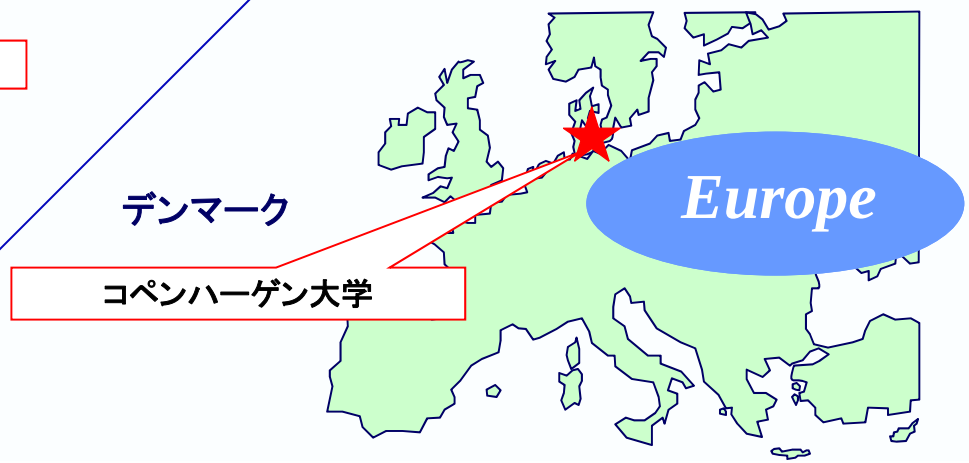
ELIONIX

国内外の大学・公的研究機関・企業の研究部門など

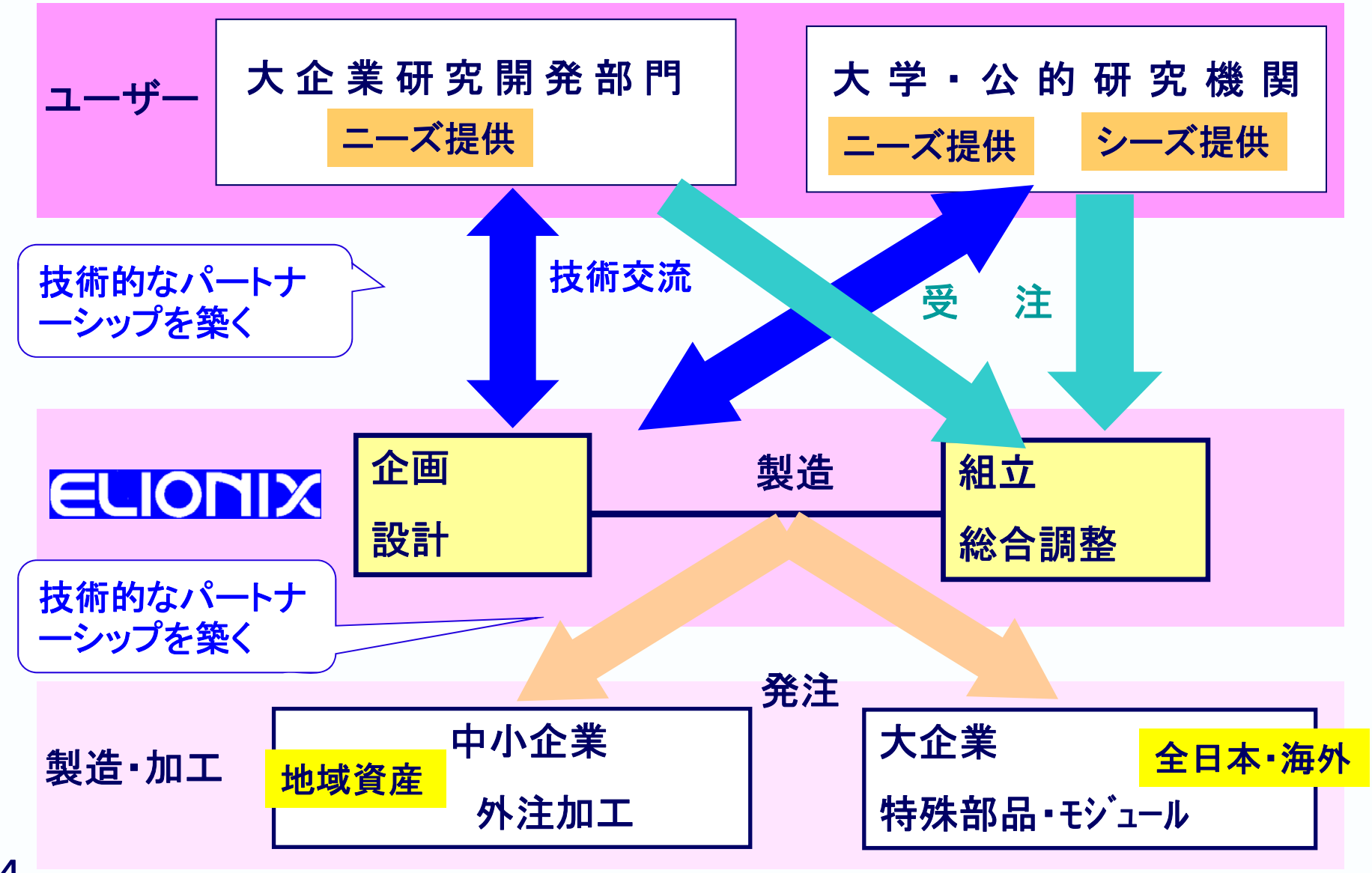
海外納入実績







3－1. 製品の開発と製造の流れ



３－２. 製品の開発と製造の流れ

ELIONIX

3-2-1.製品企画

・自社の直接営業により、ニーズ情報を取得

シーズは自社のほか、大学・国の研究所から取得

・強みは総合技術力・高い開発能力

部品加工はアウトソーシング（ファブレスの会社）

3-2-2.地域資源の活用（広域TAMA)

・製品開発型企業を支える優れた部品製造企業（サポートインダストリー）が広域TAMA地域にはある。しかも多種にわたる加工が可能。

・広域TAMA地域には弊社のような製品開発型中堅・中小企業が多い

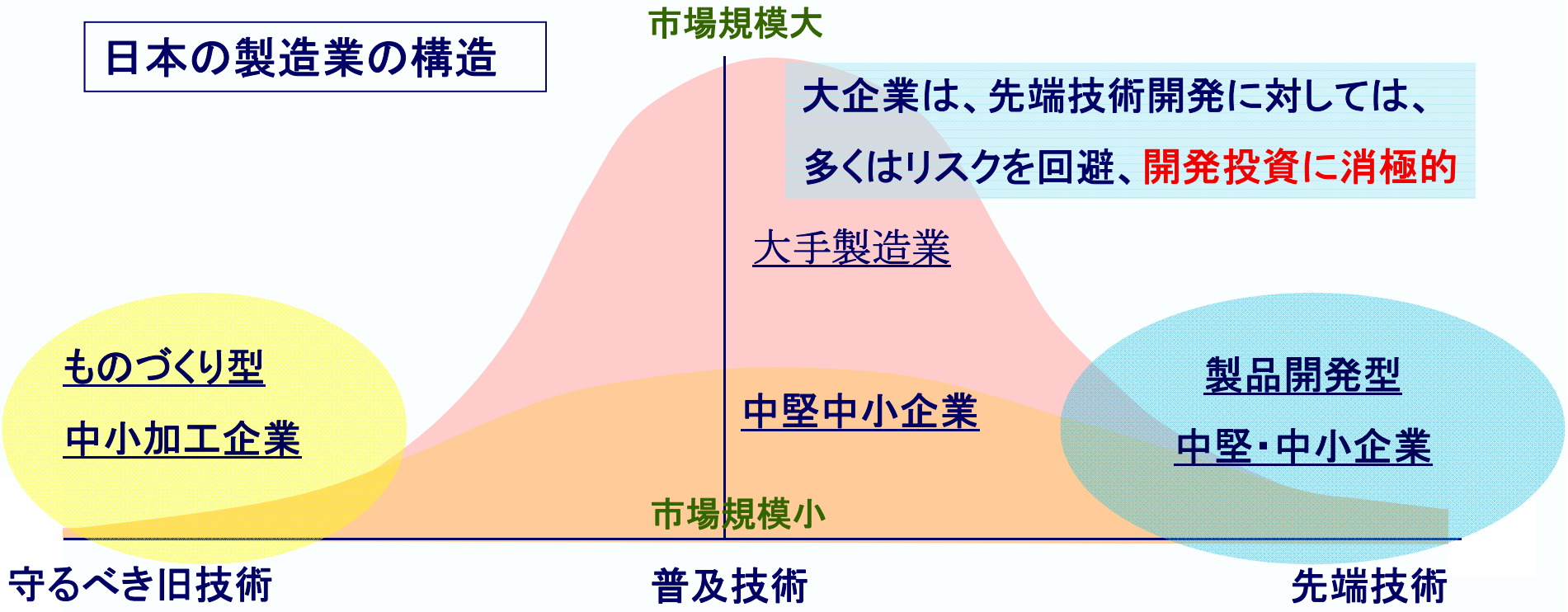
（これらの製品開発型企業はほとんどファブレス）

4. 日本のものづくりについて

ELIONIX

エリオニクスの事業を通して感じる日本のものづくりの変化

→今後製品開発型企業の役割が大きくなる



日本全体の傾向として、新しい技術を用いた事業の立ち上げが激減。先進ものづくりにおいても、かつては大企業が取り組んでいたが、今は**製品開発型中堅・中小企業**がその役割を担っている。

５．弊社の事業を通して感じたこと（今後日本が目指すべき姿）

１．　製品(商品)開発分野においても、研究分野においても、今や先駆者としての役割を果たす先進国をめざすべき。

・この20年間ほど、大手製造業は市場が顕在化していない新分野に対しては消極的であり（二番手戦略）、リスクを回避してきた。

・これにかわって、製品開発型中堅中小企業がこの役割を担っている。

このような企業が大都市圏に存在している。これらを地域の牽引役にできないか。

２．　先進的ものづくり立国の実現のため、国家の重点的科学技術施策の対象に、製品開発型中堅中小企業も参画できるようにする。

先端的技術開発に取り組む企業を規模にかかわらず支援し、事業化に直結しやすくすることが重要。

３．　民生品の海外製造へのシフトは避けられないが、各企業が得意分野で高度な専門性を保有し、日本全体では多様性に富んだものづくりができる状態を維持することが重要。

・・・これが日本の工業製品の競争力の源泉である。

Made in Japanのブランド化により、貿易黒字化を図る。

参考：本日の地域活動に関する履歴

H16年6月11日～H24年6月13日	一般社団法人首都圏産業活性化協会　理事 (H20年～H24年　同副会長)
H19年11月1日～H22年10月31日	八王子商工会議所同　副会頭
H17年6月1日～	八王子市先端技術センター運営委員

以上